



[入試に関するお問い合わせ]
入試広報課
075-531-7054

[総合案内]
総務課
075-531-7030

Follow Us



本来の自分を
研ぎだし、
新たな社会を
切りひらく。
ジェンダー法学を体系的に学べる
オンラインワンの
法学部の

ジェンダー視点の法学で
新しい社会を創造

資格取得&
公務員試験合格へGO!

萌香、奈々、凛。 3人の卒業生の 成長の軌跡を振り返ります。

ようこそ!女子大唯一の法学部へ

女子大学で法学部があるのは、京都女子大学だけ。
女性だからという理由で人生に枠をはめることなく、
未来に向けて夢を大きく描くための学びを
京都女子大学法学部は用意しています。

卒業生の私たちが

京女法学部では、基本六法に行政法を加えた科目を中心としたオーソドックスな「**基幹的法律科目**」と、「**女性のための法学科目**」を体系的に学べます。

ジェンダー法学

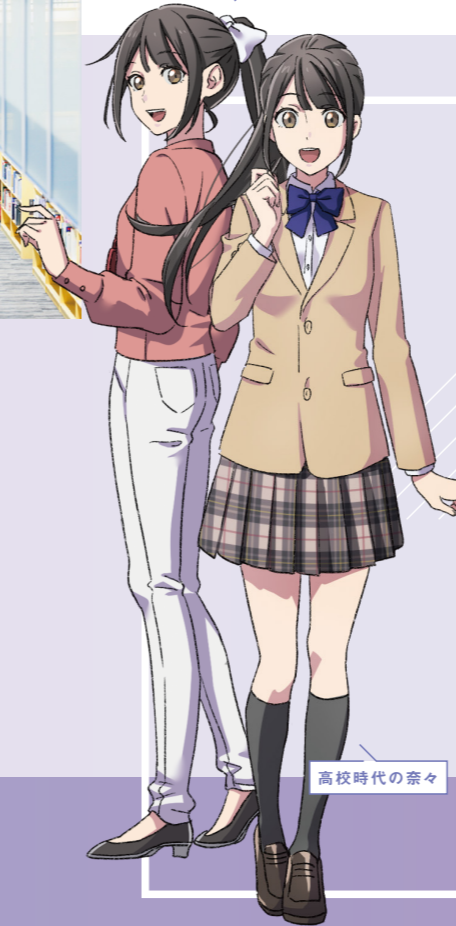
ジェンダー法学は、すべての人にとって「公正」な社会を実現するための新しい学問です。「(多様な)性」ゆえに歴史的に抑圧されてきた人々等の見えない差別を発見し、性別による偏見や不平等を是正してジェンダー平等な社会の実現を目指す試みです。法律とは、社会を動かす制度であり、ジェンダー視点を入れることで社会が変わります。

実務法学

法律系の資格はたくさんありますが、自分一人でチャレンジするのは大変です。京女法学部では、1回生で公務員受験対策の数的処理や、法学検定合格に向けた科目で基礎固めをし、2回生では、国家資格である宅地建物取引士の資格取得を目指せるように科目を配置して、順番にステップを踏んで学べるよう、きめ細やかにサポートしています。



現在の奈々



高校時代の私は...

地方在住。

公務員志望でしっかり者。

宇佐美 奈々

うさみ・なな

親は地元で大学進学&就職(公務員)してほしいと言うし、先生も「キミなら地元国立大学に合格できる」と言う。でも、一回ぐらいは県外に出て好きなことをしてみたい。公務員試験に有利な法学部を検索していたら、京都女子大学法学部を見つけた。今とき女子大?って思ったけど、他大学との交流やクラブ活動も活発で、インスタ見たらとっても楽しそう♡女子大なら親も安心して県外に出してくれるかも!



模擬法廷教室

京女の校舎内にある模擬法廷は、実際の裁判員裁判の法廷とほぼ同じ設備・機能をもつ、こだわりの本格派。ここで行う模擬裁判は、本物さながらの実演ができ、法学部生に人気の授業です。



法学部の魅力を伝えます!

現在の萌香



高校時代の私は...

ジェンダー問題を意識しはじめてモヤモヤ。

鈴木 萌香

すずき・もえか

リーダーの役割はいつも男子。女子が目立つと「出しゃばってる」的な反応がある。男子だとリーダーシップって言われるのに...なんで!?モヤモヤしながら大学を調べていたら、京都女子大学の法学部を見つけた。「ジェンダー法学」...ジェンダー平等な社会を実現する新しい学問を学べるんだって。カッコいい!法学部=弁護士って思ったけど、卒業生の進路を見ると多種多様な業界に進んで活躍してる。ステキだな!

高校時代の奈々



学生共同研究室

学生共同研究室は法学部生がよく使う校舎内にあります。ゼミの資料なども印刷でき、学生が自由に使えます。近くの資料室には学習に必要な資料が配架されていて、日常の学習環境が整っています。

高校時代の私は...

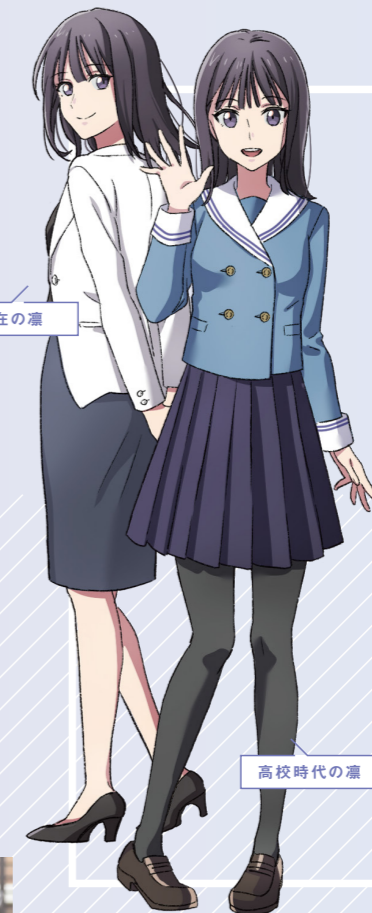
都内の女子校に通っている。
大学生生活は絶対京都!

浅倉 凛

あさくら・りん

京都の街が好き!東京と違って時間がゆっくり流れてホントいい。先生に、京都の大学に行きたいと言ったら、「京都女子大学」を教えてくれた。中高ずっと女子校だから女子大はしっくりくる。あ、法学部があるんだ!女子大初の法学部だって!「ジェンダー法学」が有名らしいけど、どんなのだろう?法学部は就職に有利だって伯父さんが言ってたし、いいかも!詳しく調べてみよう。

現在の凛



高校時代の凛



本来の自分を研ぎだし、新たな社会を切りひらく。
ジェンダー法学を体系的に学べるオンリーワンの法学部。

充実の4年間。学びのキャリアラムをご紹介します。

Curriculum



しっかり考え抜くことができる環境があったからこそ、自分でよく考え、書き進めることができた。

3・4年生のゼミで発表の準備をするのも、議論するのもとても楽しかった。自分が納得のいくテーマを見つけられ、とても満足できた。

社会人になったら、異なる意見を持つ人を説得する場面が多くある。自分とは違う意見も知った上で、根拠を示して論理的かつ簡潔に論じることができるようになり、卒業研究はとても役に立った。

建学科目
共通科目



仏教学
・言語コミュニケーション(外国語) ・情報基盤 ・健康科学
・ジェンダー、国際理解、連携活動、教養、オープン

入学当初は、不安やわからないことだらけ。先輩が後輩を手助けする「ピアサポート活動」に助けられた♪

ゼミでの議論は毎回楽しかった。話し足りなくて、帰り道もずっとゼミ仲間と議論してた。

何を言っても否定されないゼミの環境でいろんな話ができ。自分の考えを大事にしながら、他の人の考えも大事にできるようになった。

法学部では、論理的に考えて人を説得する訓練ができた。論理的思考力、人を説得する力、やり遂げる能力は社会で役に立っている。

専門科目(演習)

導入・基礎

専門入門Ⅰ・Ⅱ

事例演習Ⅰ・Ⅱ

専門演習Ⅰ・Ⅱ

卒業研究

社会の仕組みを知って目の前が開けていく…このワクワクする楽しさが、法学部の学び!

自分は権利の主体であること、泣き寝入りしない手段があることを知った。



法学部ではゼミで自分の意見を発言することが求められるので、堂々と話せるようになった。知識が自信につながっている。



京女法学部生は知らず知らずのうちに、自分で試行錯誤して解決していくとする姿勢が身についていると思う。だから社会で臆せず発言できる。

専門科目(講義)

- ・憲法、民法、刑法
- ・実務法学基礎
- ・ジェンダー法
- ・国際人権論
- ・政治学
- ・ジェンダー法実習 etc…
- ・商法、会社法
- ・刑事訴訟法
- ・国際法
- ・行政法
- ・労働法
- ・平和研究 etc…
- ・民事訴訟法
- ・消費者法
- ・知的財産法
- ・行刑刑事政策
- ・模擬裁判 etc…

法律の知識は役に立つ。債権や労働法は生活に直結している。刑事訴訟法も勉強して、いざという時、どう行動すればいいかわかる。

基本六法から、より高度な専門科目へ

世の中には信じたくないような問題があり、その問題を解消しようとする人の行動が社会を変えていくことを知った。

机の上の学びだけでなく、体を動かすことで実践的に感じるができる。自分を責めない、自分を弱くしない、萎縮しないことを学んだ。



そんな私たちの進路は

鈴木 萌香

すずき・もえか

卒論テーマ

ジェンダー公平を実現する
真の働き方改革を考える

就職先

報道機関

女性の活躍をメディアで取り上げていきたい。
キャリアを積んで、いずれは起業したい!



宇佐美 奈々

うさみ・なな

卒論テーマ

権利の主体としての子ども
-子どもの権利条約の観点から-

就職先

地元自治体公務員

多様なルーツや特性をもつ子どもたちが
のびのび成長できる、まちづくりに関わりたい



浅倉 凛

あさくら・りん

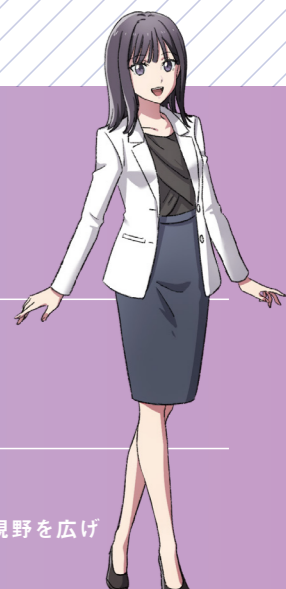
卒論テーマ

国際相続における法的問題

就職先

金融機関

いろいろなことを学んで、グローバルに視野を広げ
将来は海外でも働きたい



京女法学部が選ばれる理由

Advantage

01

リーガルマインドを養い 将来に生きる力が身につく

今の時代、法的な解決能力は必須。法律に関する幅広い知識と法的思考力は社会で役立つ。卒業研究は、4年間の学びの集大成!実践力が鍛えられ自信がついた。(鈴木 萌香)

02

体系的にジェンダー法学を学べ 新しい世界が開ける

女性の視点で法的問題を捉えて、その解決方法を学べたことがとても良かった!女子だけの環境で異性を気にせず自由に発言できた。「ジェンダーバイアス」(性別に基づく偏見)をはずすことができ、新しい世界が開けた。LGBTQ+活動の意義もわかった。(鈴木 萌香)



03

公務員試験、各種資格の 合格支援に満足!

実務法学科目では、正課の授業を通して、資格の取得や公務員試験の合格支援をしてもらえた。やる気を全力で支えてくれて嬉しかった♪(宇佐美 奈々)



04

4年間、徹底した少人数教育。 一人ひとりが成長できる環境!

1~4回生までのゼミで先生がきめ細かく指導してくれた。専門性を深めると同時に、ディスカッションやプレゼンテーションを通してコミュニケーション力が格段にアップした。(浅倉 凜)

05

卒業研究(卒業論文)で 自ら問いを立て 答えを導く力が身につく

卒業研究は専門的なテーマに取り組む論文で、3・4回生のゼミを通して書きあげる。ゼミでは、繰り返し自分の考えを発表。ゼミの仲間との議論を通して、自分の問題意識をどんどん掘り下げていく。深く、多角的に考えることで、客観的で説得力のある分析ができるようになった。(宇佐美 奈々)

06

社会活動に取り組む チャンスが多く 社会を変えられると実感できる。

電車などでの痴漢・盗撮を許さない社会を目指し、京都府警鉄道警察と協力してポスターを作成した。友だちは、えん罪のないよりよい社会を作るための活動に参加していた。このような体験から、自分にも社会を変える力があると実感できた。(浅倉 凜)

(浅倉 凜)



詳しくはWebサイトへ



Message

教員メッセージ

二度と戻らない大切な4年間をここで。私たち教員が法学を学ぶ醍醐味を伝え、本来の自分を研ぎだすお手伝いをします。



手嶋 昭子 ジェンダー法
てしま・あきこ 家族法

「正しさ」は一つではありません。心をオープンにして思い込みを手放しましょう。多様な視点から社会のあり方を理解すると、皆さん自身ももっと楽に呼吸ができ、もっと自由に生きていんだなと思えるようになってきます。そこから、周囲が、社会が変わっていきます。あなたも京女法学部と一緒に学びませんか。



岡田 愛 民法
おかだ・あい

スマホの契約をはじめ、生活にかかわる法律は、主に民法で定められています。民法を学ぶことは、社会との関係や、自分とは異なる価値観や考え方を学ぶこと。なぜそのようなルールになっているのか、身近な例を検討することで、法的思考力が鍛えられます!京女法学部で法学の本当の面白さを感じてください。



谷口 哲也 民事訴訟法
やぐち・てつや

女子大法学部+小規模という環境から、多くの学生が個性を発揮し、教員とのコミュニケーションを楽しみながら、勉学に励んでいます。法学部への進学を検討している皆さんにおすすめの本があります。『法律の学び方 シッシー&ワッシーと開く法学の扉』(青木 志著)は、皆さんにきっと役立つことでしょう。



伊藤 睦 刑事訴訟法
いとう・むつみ

刑事法の分野は、性犯罪などのデリケートなテーマもあり、その人のものの見方や性格が、結論に大きく影響するところがあります。男性ウケ、女性ウケなどを意識せず、問題に正面から取り組み、純粋な個人対個人として意見を交わすことができるのは、女子大の醍醐味!この体験は自分らしく生きる力につながります。



市川 ひろみ 国際関係論
いちかわ・ひろみ 平和研究

ウクライナや紛争地の人々を想うと、平和の大切さを痛感します。「平和と女性」の授業では、平和の担い手は誰かを学び、自分自身はどんな平和を創り出せるのかを考えます。また、実社会への問題提起として「痴漢撲滅ポスター」を警察や鉄道会社と協同制作したり、マイノリティーへの差別をなくす活動も行っています。